

| 講習期間 | 日 | 科目CD | 講習科目名 | 担当講師 | 講習会場 | 講習の概要 | 主な受講対象者 学校種・免許種・経験等 他 | 募集定員 | |
|------|-------|------|-------|---------------------------|----------------|----------------------|---|--|-----|
| 1 | 6月11日 | 日 | 11056 | 【選択】障害のある児童生徒のコミュニケーション指導 | 肥後 祥治 | 奄美市AiAiひろば(2階)多目的ホール | 障害のある児童生徒へのコミュニケーション指導法について、行動分析を基本原理におきながらその指導原理や方法について学ぶ。実際の指導経験のある人とこれから指導方法を学びたい人を混合したグループ編成の中で、シミュレーションやグループワークを実際に行いながら指導技法の習得をめざす。指導事例を実際に持参いただければ、指導法クリニックも実施したい。 | 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭、養護教諭 | 25人 |
| 2 | 6月24日 | 土 | 11050 | 【選択】小学校国語科における「書くこと」の指導法 | 原田 義則 | 県立奄美図書館第1研修室 | 現行学習指導要領における「書くこと」の言語活動例を踏まえ、その学習指導上のポイントについて、理論的な整理を行う。また、各小学校が長期休業中の課題として設定することが多い「生活文」を取り上げ、大村はま氏の実践例を参考にしながら、今後の指導上の工夫や改善点について考察を行う。なお、小学校の事例を多く扱うため、主な受講対象者は小学校教諭とするが、中学校国語科教諭も受講可能。 | 小学校・中学校(国語)教諭 | 20人 |
| 3 | 8月3日 | 木 | 11103 | 【選択】確かな授業力の育成(小学校) | 下古立 浩 奥山 茂樹 | 県立奄美図書館第1研修室 | 本講習では、小学校における授業の在り方、とりわけ教科・領域等の学習指導法の改善に焦点をあてる。いくつかの教科等を例として、学習指導法改善のポイント等について確認する。また、実際の指導上の課題などを分析しながら、実態に応じた指導の工夫や改善策などについて意見交換を行ったり、参考となる指導事例を検討したりすることで、効果的な学習指導法について整理し、理解を深めるとともに実践に活かすことができるようにする。 | 小学校教諭 | 30人 |
| 4 | 8月3日 | 木 | 11106 | 【選択】確かな授業力の育成(中学校) | 山元 卓也 内 健史 | 県立奄美図書館第3研修室 | 本講習では、中学校における授業の在り方、とりわけ教科・領域等の学習指導法の改善に焦点をあてる。いくつかの教科等を例として、学習指導法改善のポイント等について確認する。また、実際の指導上の課題などを分析しながら、実態に応じた指導の工夫や改善策などについて意見交換を行ったり、参考となる指導事例を検討したりすることで、効果的な学習指導法について整理し、理解を深めるとともに実践に活かすことができるようにする。 | 中学校教諭 | 30人 |
| 5 | 8月5日 | 土 | 11087 | 【選択】不登校に関する基本的な理解と支援 | 有倉 巳幸 | 県立奄美図書館第1研修室 | 不登校は、その背景や行動について、その本人と関わる機会が少なくなるため、理解することが難しいとされる。そのため、教師にとって戸惑う課題の一つであると言えよう。本講習では、不登校について、本人の感情や行動面に注目し、その理解について、いくつかの視点からの解説を行う。また、支援のあり方については、事例を取り上げながら、検討できる機会を設けていきたいと考える。 | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭 | 50人 |
| 6 | 8月26日 | 土 | 11092 | 【選択】児童生徒理解に向けた認知心理学的アプローチ | 大坪 治彦 | 県立奄美図書館第1研修室 | 児童生徒の思考、記憶、学習、対人関係、行動などを、それを生起させている児童生徒の内的プロセスに注目するアプローチを概説する。この人間の内的プロセスに注目する「認知心理学的アプローチ」は、児童生徒の感覚・知覚から思考判断、注意の集中、行動の調整、対人認知、感情交流といったあらゆる側面に適用できるものである。本講習ではこのアプローチによる理解を出発点にこうした場面で種々の「つまづき」をみせる児童生徒への効果的な支援の在り方を探求する。 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭、養護教諭 | 50人 |
| 7 | 8月27日 | 日 | 11036 | 【選択必修】教育相談 | 大坪 治彦 | 県立奄美図書館第1研修室 | いじめや不登校など学校における諸問題において、教育相談は、開発的・予防的・問題解決的な方法論をもつ。本講習では、児童・生徒や保護者を正しく理解し、援助・支援する具体的な方法としての教育相談について概説し、事例を通して、理解の視点、対応の仕方について学ぶことを目的とする。 | 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 50人 |

| 講習期間 | 日 | 科目CD | 講習科目名 | 担当講師 | 講習会場 | 講習の概要 | 主な受講対象者 学校種・免許種・経験等 他 | 募集定員 | |
|------|--------|------|-------|--------------------------|---|--------------------------|---|---|-----|
| 8 | 10月1日 | 日 | 11090 | 【選択】幼児理解の心理 | 島 義弘 | 県立奄美図書館 第1研修室 | 本講習では、(1)幼児を理解するための心理学の理論、および(2)幼児を理解するための方法について概説し、(3)幼児理解に基づく発達・教育支援について事例検討とグループ・ディスカッションを通して考えていく。 | 幼稚園・小学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭、養護教諭 | 40人 |
| 9 | 11月11日 | 土 | 11100 | 【選択】授業に活かす体力科学 | 與儀 幸朝 | 県立奄美図書館 第1研修室 | 小学生・中学生・高校生の体力・運動能力について、時代差や地域差、個人差の存在を体力科学の側面から示したうえで、それぞれの「差」を発生させる要因について、社会環境や生活環境といった児童・生徒を取り巻く環境の相違や変化から概説を行う。そのうえで、体力の向上を図っていくための授業及び運動部活動等への取り組みについて検討して、実践に活かす方法を探求する。 | 小学校・中学校(保健体育)・高等学校(保健体育)教諭、養護教諭 | 30人 |
| 10 | 10月22日 | 日 | 11024 | 【選択必修】授業でのICT活用による指導法の改善 | 山本 朋弘 | 奄美市AiAiひろば (2階)多目的ホール | 本講座では、次期学習指導要領等の動向を踏まえつつ、ICTを活用した授業における指導法改善についての研修を深めていく。まず、電子黒板や実物投影機等のICTの特性を知り、各校種・各教科での好事例を紹介し、より効果的な活用場面を検討する。さらに、タブレット型端末を活用した授業、テレビ会議を用いた遠隔授業など、今後普及が期待される機器の活用事例から、授業での指導法改善をどう図るか、授業設計や教材開発の視点から深めていく。 | 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 30人 |
| 11 | 10月28日 | 土 | 11019 | 【選択必修】進路指導およびキャリア教育 | 大坪 治彦 | 県立奄美図書館 第1研修室 | これからの社会に生きる子ども(幼児・児童・生徒)にとってどんな教育が必要であり、有効であるのか。このことについて、発達の視点から進路指導及びキャリア教育のあり方を、講義や演習などを通して考えていきます。まず、スーパーのキャリア発達理論のほか、最近のキャリア発達理論の考え方を通して、キャリア教育をどのように進めていくかを考えます。その上で、生きる意味や働く意味を問い直すために、自己理解(分析)、意思決定、目標設定・行動の実践について演習を行います。 | 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 30人 |
| 12 | 10月29日 | 日 | 11094 | 【選択】学校教育カウンセリングの理論と実技 | 大坪 治彦 | 県立奄美図書館 第1研修室 | カウンセリングの技術についてその理論と実技を学ぶもので、主な講習内容は以下のとおりである。 ①治療的カウンセリング・予防的カウンセリング・開発的カウンセリング ②カウンセリングの3大理論(来談者中心療法・精神分析・行動療法) ③構成的グループエンカウンターの実践 ④マイクロカウンセリングを基にしたカウンセリング技法の実習 ⑤不登校・いじめ・発達障害等の実際場面を想定したロールプレイ ⑥保護者との対応 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭、養護教諭 | 30人 |
| 13 | 11月18日 | 土 | 11007 | 【必修】教育の最新事情 | 前田 晶子 今林 俊一 | 奄美市AiAiひろば (2階)多目的ホール | 前半では、日本の教育政策や世界の教育の動向について現在の知見を紹介し、また、教員としての子ども観、教育観等についての省察の意義について考える。後半では、子どもの発達に関して脳科学や心理学において明らかにされていることに基づき、LDなどの発達障害について概説し、また、子どもを取り巻く環境の多様化を踏まえた上で、学級経営やキャリア教育のあり方について考える。 | 全教員 | 50人 |
| 14 | 12月3日 | 日 | 11136 | 【選択】島嶼の自然と人々 | 大塚 靖 河合 漢 高宮 広土 山本 宗立 藤井 琢磨 | 奄美市AiAiひろば (2階)多目的ホール | 鹿児島県島嶼部を中心にアジア太平洋島嶼部における自然環境とそこに生活する人の持つそれぞれの多様性とその関係性について以下の学際的な視点から講義を行う。1)島嶼の自然を海と陸に生息する生物の生態、2)島嶼環境にいつ頃人々が移動したのよう適応してきたか、3)島嶼において植物をもとにしてどのような文化を作り上げてきたか、4)島嶼において人と自然と衛生動物の関係。 | 幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭 | 20人 |

※ 離島講習では受講申込者が2名以上の場合は、開講します。



| 講習期間 | 日 | 科目CD | 講習科目名 | 担当講師 | 講習会場 | 主な受講対象者 学校種・免許種・経験等 他 | 募集定員 | |
|------|--------|------|--------------------------------|---|--------|--|---|-----|
| 1 | 6月11日 | 日 | 11135 【選択】島嶼の自然と人々 | 大塚 靖 河合 溪 高宮 広土 山本 宗立 藤井 琢磨 | 大島郡天城町 | 鹿児島県島嶼部を中心にアジア太平洋島嶼部における自然環境とそこに生活する人の持つそれぞれの多様性とその関係性について以下の学際的な視点から講義を行う。1)島嶼の自然を海と陸に生息する生物の生態、2)島嶼環境について頃人々が移動したのよう適応してきたか、3)島嶼において植物をもとにしてどのような文化を作り上げてきたか、4)島嶼において人と自然と衛生動物の関係。 | 幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・幼保連携型認定こども園教諭 | 20人 |
| 2 | 6月17日 | 土 | 11049 【選択】小学校国語科における「書くこと」の指導法 | 原田 義則 | 大島郡天城町 | 現行学習指導要領における「書くこと」の言語活動例を踏まえ、その学習指導上のポイントについて、理論的な整理を行う。また、各小学校が長期休業中の課題として設定することが多い「生活文」を取り上げ、大村はま氏の実践例を参考にしながら、今後の指導上の工夫や改善点について考察を行う。なお、小学校の事例を多く扱うため、主な受講対象者は小学校教諭とするが、中学校国語科教諭も受講可能。 | 小学校・中学校(国語)教諭 | 20人 |
| 3 | 9月10日 | 日 | 11012 【選択必修】教職についての省察 | 内沢 達 | 大島郡天城町 | 広く教職のありようについて省察します。国内外の学力調査状況にふれつつ、「生きる力」をばぐくみ「確かな学力」をつちかっっていく教職の役割について述べます。子どもたちが自分に自信をもち、学習に意欲的になれる教職の課題についても深めます。 | 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 20人 |
| 4 | 8月9日 | 水 | 11046 【選択】マネジメント理論から見る人材育成の方向性 | 大前 慶和 | 大島郡天城町 | マネジメント理論の歴史から、新しい戦略概念「創発的戦略」を理解する。これにより、現代社会に必要とされている組織像、人材像を理解する。この理解は、学級経営、生徒指導などへの応用が可能であり、担当講師自身の取り組みも紹介する。続いて、エクスレントカンパニーとしてディズニーを取り上げ、マネジメント手法およびホスピタリティーについて理解する。生徒との関係性構築の他、修学旅行の事前学習にも活用可能である。 | 小学校・中学校・高等学校教諭 | 10人 |
| 5 | 10月15日 | 日 | 11112 【選択】文学教材指導法 | 上谷 順三郎 | 大島郡天城町 | 次期学習指導要領に向けた小・中・高の国語教育の動向と説明的文章と文学的文章の違いを踏まえた「読むこと」学習のポイントについて講義する。文学的文章の特性に応じた指導法の具体化として、読解的授業と読書の授業についての演習を行う。 | 小学校・中学校(国語)・高等学校(国語)教諭 | 20人 |
| 6 | 12月3日 | 日 | 11025 【選択必修】授業でのICT活用による指導法の改善 | 山本 朋弘 | 大島郡天城町 | 本講座では、次期学習指導要領等の動向を踏まえつつ、ICTを活用した授業における指導法改善についての研修を深めていく。まず、電子黒板や実物投影機等のICTの特性を知り、各校種・各教科での好事例を紹介し、より効果的な活用場面を検討する。さらに、タブレット型端末を活用した授業、テレビ会議を用いた遠隔授業など、今後普及が期待される機器の活用事例から、授業での指導法改善をどう図るか、授業設計や教材開発の視点から深めていく。 | 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭 | 20人 |

※ 離島講習では受講申込者が2名以上の場合は、開講します。

